

宗像市民図書館だより No.51

平成27年4月発行

URL: <http://munakata.milib.jp/>

E-mail: tosyo@city.munakata.fukuoka.jp



今年の標語は「本は キラキラ 万華鏡」

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。宗像市民図書館でも、おはなし会スペシャルを開催いたします。

おはなし会スペシャル

日にち：4月28日（火）11：00～

場所：メイトム宗像えほんのへや

入場無料 申込不要

予約の多い本ベスト10

（平成26年度実績）

- 『虚ろな十字架』 東野圭吾著 光文社
- 『村上海賊の娘』 和田竜著 新潮社
- 『豆の上で眠る』 湊かなえ著 新潮社
- 『マスカレード・イブ』
東野圭吾著 集英社
- 『明日の子供たち』 有川浩著 幻冬舎
- 『海賊とよばれた男』 百田尚樹著 講談社
- 『山女日記』 湊かなえ著 幻冬舎
- 『キャロリング』 有川浩著 幻冬舎
- 『満願』 米澤穂信著 新潮社
- 『サラバ！』 西加奈子著 小学館

春の風物詩 桜

春といえば桜、毎年お花見を楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。写真集、植物学、お花見料理のレシピや小説など、さまざまな角度から桜を取り上げた本を紹介します。

- 『桜行脚』 巽宏安著 光村推古書院
- 『おもしろくてためになる桜の雑学事典』
井筒清次著 日本実業出版社
- 『サクラハンドブック』
大原隆明著 文一総合出版
- 『有元葉子の「和」のお弁当』
有元葉子著 東京書籍
- 『桜ほうさら』 宮部みゆき著 PHP 研究所